



三越伊勢丹ホールディングス

各位

2021年1月29日

株式会社三越伊勢丹ホールディングス

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
～三越伊勢丹グループは持続可能な社会の実現に貢献してまいります～

株式会社三越伊勢丹ホールディングス（取締役 代表執行役社長 CEO：杉江俊彦）は、三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：橋本 勝）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション（以下「LMA」（※1））等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）」による融資契約（以下「本件」）を締結いたしました。





SLLは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下「SPTs」）を設定し、借入条件とSPTsのパフォーマンスを連携させることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動や成長を促進することを目指すものです。

三越伊勢丹グループは、「豊かさ」を求める「世界中のお客さま」と「人・地域・時代・社会」のつなぎ手であり続けるため、サステナブルな取り組みを推進しております。その重点取り組みの一つ「持続可能な社会・時代をつなぐ」では、未来に向けて持続可能な社会をつなぐため、安心・安全な商品・サービスの提供、低炭素社会や省資源をはじめとした環境負荷軽減につながる取り組みの推進を掲げています。2018年度に「三越伊勢丹グループ2030年環境中期目標（※2）」を策定し、国内グループ百貨店で自社製プラスチック買物袋の順次廃止や店舗照明のLED照明への切り替え等、CO₂排出総量削減を通じた気候変動対策に取り組んでいます。

本件では、SPTs を CDP気候変動質問書（※3）スコアの維持や向上に設定いたしました。当社は、「CDP 2020年気候変動質問書」においてA-評価を得ており、CO₂排出総量削減等の気候変動対策を積極的に推進することを通じたCDP気候変動質問書スコアの維持や向上を目指しています。

なお、本件は株式会社日本格付研究所よりSLL原則への準拠性、設定したSPTsの合理性について第三者意見（※4）を取得しています。

SPTs の内容
CDP（※3）が公開する気候変動に係るスコアにおいて、リーダーシップレベル（A、A-）を維持すること

本件が貢献する主な SDGs
   

本件の概要	
実行日	：2021年1月29日
融資期間	：5年間
金額	：50億円
資金使途	：事業資金

三越伊勢丹グループはこれからも、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまと「人・地域・時代・社会」をつなぐつなぎ手としての役割を果たすとともに、企業として持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

三越伊勢丹ホールディングス ウェブサイト <https://www.imhds.co.jp>
サステナビリティページ <https://imhds.disclosure.site>

- (※1) LMAは欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60カ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。
- (※2) 2030年度に三越伊勢丹グループのCO₂排出総量（SCOPE1および2）を基準年度である2013年度と対比して42%削減とする目標を設定しています。なお、2019年度のCO₂排出総量は2013年度比▲31.3%でした。
- (※3) CDPは気候変動など、環境分野に取り組む国際的な非営利団体。気候変動が企業に与える経営リスクの観点から、世界の主要企業のCO₂排出量や気候変動に関する情報を、共通の質問状を用いて収集する気候変動対応調査。収集した回答内容を分析・評価することで、企業毎の取り組み状況に応じて「A」から「D-」までの8段階でランク付けが行われています。
- (※4) 株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照下さい。 <https://www.jcr.co.jp/>

【本件に関する報道関係の皆さまのお問い合わせ先】
三越伊勢丹ホールディングス チーフオフィサー室 広報・IR 部
TEL：03-6730-5003